



会津大学 後援会だより



学長あいさつ

「無駄でも必要なことも」

会津大学長

岡 隆一

会津大学後援会の皆さんには、日頃より様々な支援を頂きまして誠にありがとうございます。そのおかげもありまして平成26年度の卒業予定者の就職内定率は昨年を上回る状況となっています。また、これまでの長い期間蓄積されたデータから、大学院修士学生の就職活動に関しては、その内定率、内定の決まり方の早さ等において、学部生と比較して有利であることは明らかです。これは、現在、理工系の就活は大学院修士課程修了を中心となっていることを反映しています。理工系では、学ぶ内容の多さ、必要な演習量など専門家の卵としての最低の勉学には修士課程までの期間を必要とします。その分、家庭の負担は増すことになりますが、皆様方におかれましてはこの事情を理解していただき、学生に大学院進学の希望があれば是非後押していただき、学生には、大学で学んだことをより生かすことのできる就職先を目指していただければと思います。

さて、学生は大学を卒業するまでに大きく成長します。そこで、ここでは子供の成長の一側面を書いてみたいと思います。

子供の成長には、さまざまなものがあるようです。それらの子供の成長の過程では、「なんて無駄なことを！」というひんしゅくを買うものによって獲得されるものが多いのではないかでしょうか。親にとっては、「子供が金銭的にもそれ以外の点でも無駄をする」と感じることが、子供の成長に資するものの中に多く含まれているのではないかと思います。しかし、子供当人にとっては、その「無駄遣い」を始める段階では、無駄とは思っていない場合がほとんどです。つまり、親にとってそれは無駄遣い

第33号

発行：会津大学後援会（事務局 学生部学生課）
発行日：平成27年3月1日
住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀
電話：0242-37-2515 (FAX)0242-37-2526
URL：<http://www.u-aizu.ac.jp>

と明らかに分かっていても、親の言葉は子供には通じず、子供はそれを事後的に、無駄を体験して初めて理解できる性質のものが多いということです。多くの人の間の学習は、後悔によってしかそれができない、ということがかなりあるのではないかと思います。言い換えると、後悔できる感覚がある限りは、「無駄」は生きるということです。後悔は、その自己の成長を担保する機能を持ちます。別の言い方をすると、身にしみる後悔の感覚をもたない状況では、無駄は生きないということになります。親にとっては、子供にその後悔の感覚があるかないかを、その程度も含めて判断することが肝要なことになります。もちろん、強い後悔の念が発生するとはいかずに、新たな経験を金銭などの使用を通じて行い、その経験は単に経験するだけに終ってしまうという場合もあります。しかし、新しい経験をしたということは、小さくても、また良くも悪くもその方面的土地勘を得たということであり、意味あることであると評価できます。子供には、お金をかけずにいろいろ経験して、怪我もせず、精神的なトラウマにもならないで、成長して欲しいと思うのは正直な親心ですが、そのように理想的にはうまくいかないと覺悟する必要があるのではないでしょうか。とりあえず、親は、子供に決定的に大きなダメージを与えない範囲であれば、子供は精神的にも肉体的にも耐えうる試練をするものだと思うしかないようです。

子供の成長や試練に大学の教員がどれほど関与できるか、というものもあります。教員もそれなりに経験をしていますが、それでも年代も内容も限られた範囲のものでしかありません。それらの経験は若い学生にとって必ずしも魅力あるものではないと思われます。その意味では、教員の影響は全くないとは言えませんが、大きく期待できるものではありません。

そして、こういった状況を踏まえると、子供だけでなく教員も親も、まさに新しい「無駄の経験」を毎日しているとも言えるのです。

平成27年度 後援会事業予定

通年	新入生クラスミーティング運営費補助事業 就職活動交通費・宿泊費補助事業 ボランティア活動費補助事業 朝食定期券補助事業
4月 2日	平成27年度後援会総会および 第1回後援会役員会
4月 3・4日	新入生オリエンテーション経費支援
4月 19日	春期情報処理技術者試験送迎バス運行

7月	学生会・学園祭実行委員会への助成
8月	後援会だより34号発行
10月	第2回後援会役員会
	大学報告会・就職講演会・相談会・懇親会
3月	秋期情報処理技術者試験送迎バス運行
	後援会だより35号発行
	第3回後援会役員会
3月 18日	卒業記念パーティ

※上記はあくまでも予定であり、時期や内容等は変更になる可能性があります

平成26年度後援会事業報告

会津大学後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しており、本年度は下記のとおり事業を行いました。

1 スキルアップ奨励事業

学生のコンピュータの専門知識及び語学力の向上を図るため、情報処理技術者試験の合格者及び TOEIC 等の語学試験の高得点獲得者に奨励金を支給しています。平成 27 年 2 月 9 日現在における本年度分該当者は次の方々です。

〔情報処理技術者試験〕

■応用情報技術者試験（8名）

高橋 靖宏（1年）、山下琢磨（1年）、小林将也（2年）、山口忠正（2年）、井上千徳（3年）、橋本大輝（3年）、照沼直樹（4年）、川村 吏（4年）

■情報セキュリティスペシャリスト（1名）：羽生凌太（4年）

〔TOEIC〕

■550 点以上（TOEIC SW 試験受験料助成）（2名）：渡部智史（3年）、古川雅也（3年）

■600 点以上（10名）：米原 楚（1年）、保坂真輝（1年）、土佐峻平（1年）、深澤直樹（1年）、小松凌也（1年）、目黒譲治（3年）、美馬久行（3年）、千田忠賢（4年）、加藤恵亮（4年）、菅宮 岳（4年）、

■730 点以上（1名）：田茂井圭祐（3年）

■860 点以上（2名）：Aguirre Paul Edward Blas（1年）、高田笑里（2年）

2 大学祭協賛行事

10 月の蒼翔祭（大学祭）の開催に合わせて、後援会事業として保護者向けの下記事業を実施し、多くの方の参加をいただきました。〔平成 26 年 10 月 11 日（土）開催〕

〔会津大学報告会・就職講演会〕

会津大学報告会では、東原恒夫学生部長から「会津大学の近況について」というテーマで教育、就職について講演を行いました。また、就職講演会では、会津大学の佐野キャリアデザインコーディネータより、本学における就職支援事業の紹介とこれからの支援体制についての説明に続いて、株式会社リクルートキャリアの津川毅氏を講師に、最近の就職環境、就職活動中の学生本人に対する親としての心構えとコミュニケーションのあり方などを内容とする講演を行いました。（参加保護者 126 名）

〔保護者のための各種相談会〕

学部長、学生部長をはじめ、学内の関係教職員による、修学や進路、生活、心身の健康の問題に関する個別相談を行いました。（42組）

〔懇親会（同窓会と共に）〕

同日 17 時より、同窓会と共に懇親会を開催しました。保護者の方はもちろん、同窓生、教職員も参加し、学生のこと、会津大学のこと等で話に花が咲き、終始和やかな会となりました。（参加保護者 14 名）

3 情報処理技術者試験送迎バス

情報処理技術者試験を受験する学生の利便を図るために、大学から試験会場である日本大学工学部（郡山市）までの送迎バスの運行を 4 月 20 日（日）（利用数 79 人）、と 10 月 19 日（日）（利用者数 125 人）の 2 回行いました。

4 就職活動交通費、宿泊費補助事業

首都圏等、遠方で就職活動をするが多くなる会津大学生に公共交通機関の利用に伴う交通費と宿泊費を補助する就職活動交通費及び宿泊費補助事業を実施しています。平成 26 年度は交通費が学部 3・4 年生 49 名、宿泊費が学部 3・4 年生 22 名から申請があり、それぞれ 1 人上限 1 万円まで補助しました。（平成 27 年 2 月 9 日現在）

5 朝食定期券助成

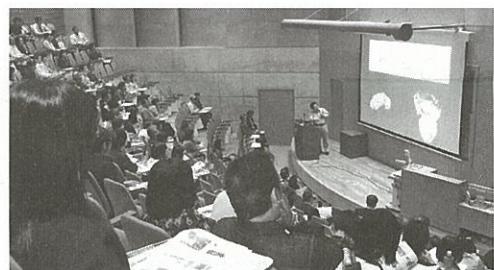
学生の健全な食生活の維持と向上を目的に「朝食定期券」の購入金額の一部を食堂と協力し助成しました。今年度の利用者数は昨年度を大きく上回りました。より多くの学生が大学で朝食をとり講義に臨んでいます。

※利用者数 延べ 299 名。（参考：昨年度 245 名）

6 クラス活動補助事業

教員と学生同士の日常的な結びつけを強め、常に気軽に相談し合える環境を作るため、クラス単位の活動（食事会、レクレーション活動）に係る経費の一部を助成しました。

※利用クラス数 延べ 15 クラス。（参考：昨年度 延べ 14 クラス）



会津大学報告会・就職講演会



懇親会

学内ニュース

会津大生参加チームがITハッカソン「未来予知アワード2014」で入賞



平成 26 年 9 月 20 日（土）、21 日（日）、22 日（月）にわたり開催された Yahoo! Japan 主催の IT ハッカソン「未来予知アワード 2014 - IT のチカラで世代をつなぐハッカソン」（※）で、会津大生の森野未沙登

※未来予知アワード2014 - ITのチカラで世代をつなぐハッカソン：ポータルサイト Yahoo! Japan が立ち上げた「Full Life(充実した人生)」プロジェクトを進化させる形で開催された、現在の自分と未来の世代を幸せにする新しいアイデアをカタチにするハッカソンです。ハッカソン（hackathon）とは、ハック(hack)とマラソン(marathon)を合わせた混成語で、IT開発者らが集中的に共同作業を行うプロジェクトのイベントを指します。

2014年ACM-ICPCアジア予選クアラルンプール大会・東京大会にて会津大チーム入賞

平成 26 年 10 月 19 日（日）、11 月 1 日（日）、ACM-ICPC 国際大学対抗プログラミングコンテスト アジア地区予選がそれぞれ東京とクアラルンプールで開催されました。会津大のチーム AizukkYYY が参加し、東京大会 13 位入賞、クアラルンプール大会 8 位入賞を果たしました。

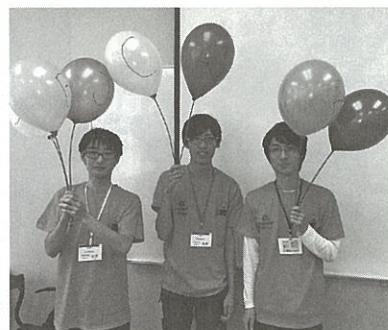
会津大生として最後の大会となった照沼直樹さん（学部 4 年）は、「最後の ICPC で全力を出し切ることができ、悔いなく終わることができてうれしく思います。競技プログラミングはとても楽しいので、皆さんも是非始めてみて下さい」と集大成の大会を振り返り

さん（学部 2 年）が参加したチーム nep の「Universe U10」が @cosme 賞を受賞しました。

このハッカソンでは、自分の未来をより幸せにするための課題、または自分の死後、家族や大事な人たちを幸せにする課題のいずれかを選び、アプリを開発しました。

今回入賞した「Universe10」は、10 歳以下限定の子供のための SNS です。利用者は大人の介入のない宇宙をイメージした世界の中で、子供同士でコミュニケーションを取ったり相談したりして成長します。利用者が 11 歳になった時点で「卒業式」を迎え、アプリにアクセスできなくなりますが、卒業した子どもたちのデータは残り、人工知能として新規加入する子供たちと接することができます。

ました。また、千田忠賢さん（学部 4 年）は、「今年のクアラルンプール大会は、練習不足か、あるいは練習法が誤っていたのか、見直しの必要性を感じました。後輩たちには、練習不足では実力を出し切れないことを自覚するよう伝えたいです」と叱咤激励の言葉を述べました。



東京大学主催ハッカソンで会津大生チームがグランプリ



東京大学が主催した国内最大規模の学生向けハッカソン「JPHACKS」で、会津大生の五十嵐太清さんと坂口勇太さん（ともに学部 2 年）がグランプリを獲得しました。

今回は、「3 年先の世界基準となるプロダクト」をテーマとし、平成 26 年 12 月 13・14 日（土・日）にハッカソン（ツール開発競技会）と第一次プレゼンテーション、20 日（日）に選抜 9 チームによる最終プレゼンテーション、表彰式等が開催されました。大会には 100 人

の募集枠に 230 人の応募があり、その中からツール開発の実績のある学部生や院生 130 人が選ばれ、32 チームに分かれてアイディアや技術を競い合いました。

IT 業界を牽引する企業や技術者、投資家へ向けたプレゼンテーション等を経て、審査の結果、五十嵐さんと坂口さんのチーム「SpiritualDB」が最優秀賞を獲得しました。二人が開発したのは「spiritualAxsh（スピリチュアル握手）」というツールで、機器を手首に装着して握手すると、名刺を交換するように個人の様々な情報を交換できます。短期間でプログラムだけでなく、実際の機器まで開発した点等が評価されました。

五十嵐さんは「構想は前日に宿泊先で練りました。機器は当日に足りない材料を 100 円ショップで買い足して、会場でハンダ付けして作りました。今後は製品

化を目指していきます」と大会を振り返りました。坂口さんは「忙しく準備時間もなかなか取れず、最後まで試行錯誤を繰り返していました。プレゼンテーションはアドリブも入れて、とても盛り上りました。自

分たちが勝てるとは思えないほど高いレベルの大会でした。グランプリを獲得できてとても嬉しく思います」と述べ、笑顔を見せました。

会津大学ベンチャーワークス 10が「芋ち煮会」を開催

平成 26 年 12 月 20 日(土)、会津 IT 日新館ベンチャーワークス 10(※)は南会津の方々と「オープンコミュニティースペース 昭和幸流館じぞう家」(会津若松市)にて交流会イベント「芋ち煮会」を行いました。

工房 10 では地域との関わりを大切にする活動を実施しています。今回は、「じぞう家」にイベント会場を提供していただき、工房 10 が考案した芋煮と餅を組み合わせた「芋ち煮」を、南会津の方々の提供による南会津産の新鮮な食材を具材として作るコラボ企画となりました。このイベントは、南会津の方々との交流を深め、地域発展への貢献をすることを目的としています。おいしい食事を作り、ともに食べることにより、参加者たちは交流を深めることができました。

※会津 IT 日新館ベンチャーワークス 10 「アイデア創出、地域貢献プロジェクト」：IT 教育を特徴とする会津大学では地域のベンチャー企業や自治体と連携し、それらのニーズに対応したテーマで「ベンチャーワークス」群を構成しています。各工房では、地域企業の経営者や技術者から指導を受けながら、ニーズを満たすソフトウェア開発など製品化にかかるプロセスを体験し、確かな技術と起業家精神を養うことを目的とし活動しています。

今回の「芋ち煮」は、学生のアイデアから企画が始まりました。工房 10 では、今後も学生同士で交流のためのアイデアを出し合い、さらに開催規模を広げ、地域の発展に貢献するための様々な活動に積極的に取り組んでいきます。



日本学生支援機構 平成26年度優秀学生顕彰に会津大生が選ばされました



平成 26 年 12 月 13 日(土)、会津大生の加藤恵亮さん(学部 4 年)が、日本学生支援機構の平成 26 年度優秀学生顕彰に選ばされました。この賞には「学術」「文化・芸術」「スポーツ」「社会貢献」の 4 分野にそれぞれ大賞、優秀賞、奨励賞の三種があり、加藤さんは「学術」分野での優秀賞を受賞しました。

日本学生支援機構では、経済的理由により修学に困難がありつつも、各分野で優れた業績を挙げた学生・生徒に対して、これを奨励・支援し前途有望な人材の育成に資することを目的として、多くの方々から寄せられた寄附金を基に優秀学生顕彰を行っています。

加藤さんは、学部 1 年生の時に、クラウドアプリ技術に興味を持ち、プログラミング初心者に役立つツールを研究しました。その研究での知見は「第 153 回 International Conference on Control Processes and Stability (制御プロセス・安定性に関する国際会議)」

(ロシア・サンクトペテルブルク大学)において報告され、学会紀要に掲載されました。2013 年度には、パスワードセキュリティ及びコンピュータプライバシー関連の問題を研究し、その成果は「第 7 回 IEEE International Conference on Intelligent Data Acquisition and Advanced Computing Systems (知的データ取得および先進コンピューティングシステムに関する国際会議)」(ドイツ・ベルリン)で発表され、学会紀要に掲載された他、研究を継続し新たな知見が学会誌 "International Journal of Computing" に掲載されました。2014 年度は、コンピュータセキュリティ分野における新たな研究成果を、「第 9 回 IEEE International Conference for Internet Technology and Secured Transactions (インターネット技術と安全なトランザクションに関する国際会議)」(イギリス・ロンドン)で発表しました。加藤さんの論文は、会議主催者の推薦を受けて学会の科学雑誌に掲載されました。

加藤さんは、「この度は名誉ある賞を受賞することができとても光栄です。これも日頃から熱心に指導・支援していただいた方々のおかげです。特に、指導教員であるクリューエフ教授、海外で行われる学会に参加するための費用を助成していただいた会津地域教育・学術振興財団、会津大学後援会の方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。今後も、目標に向かって挑戦し続けたいと思います。」とコメントしました。

サークル紹介

天文サークル

はじめまして、天文サークルです。私達“天文サークル”は、昨年9月に設立したサークルです。部員数は平成27年2月時点で44人、そのほとんどが1年生で構成されています。

設立されて間もないですが、天体観測を中心とした活動を積極的に行ってています。昨年10月8日には皆既月蝕の観測を行いました。その際、会津大学内にある展望台にて月蝕により変わっていく月面をより鮮明に観測しました。また、惑星科学の研究をしている出村裕英先生の分かりやすい解説を受けながらの観測会となりました。

また、部員同士での活動として、10月下旬のオリオン座流星群、11月上旬の牡牛座流星群の観測を行いました。その際には、星座に詳しい部員の解説の元、秋から冬の星座の話を交えながら満点の星空の中、多くの流星を観

測することができました。

天文サークルではこの様に、誰でも星や宇宙に興味を持つて楽しく参加出来るサークルを目指しています。空は誰のものではなく、価値観もそれぞれのものなので、みんなで意見を交換しながら楽しんでいけたらなと思っています。

今後は天体観測だけではなく、地域の方々を始め大学外の各方面の人たちとの交流を行いたいと思います。



就職活動状況について

〔就職活動状況〕

厚生労働省が、平成26年度卒業予定者の大学生の全国の就職内定率は、12月1日現在で、前年同期と比較し3.7ポイント上昇の80.3%と発表しました。本学においても、1月末日現在で87.1%（学部）となり、前年同期比で5ポイント上昇しています。なお、大学院博士前期課程の就職内定率は1月末日現在96.2%で、前年同期比4ポイント上昇し、今年度も大学院の就職内定率は100%となる見込みです。

〔平成26年度会津大学就職内定率〕 (平成27年1月末日現在)

	進路希望	決定者数
就職	民間企業 (就職内定率)	140 87.1%
	教員	6
職	公務員・団体等	4
	起業・家業	0
合 計		150
		124

	進路希望	決定者数
進学	本校大学院	45
	他の大学院	9
	海外の大学院	0
合 計		54
		36

〔就職支援〕

「進路ガイダンス」や「キャリデザインⅡ」は、学部3年生を対象とし外部講師による進路選択、エントリーシートの添削や筆記試験対策、模擬面接など、より実践に近い就職支援を行っています。

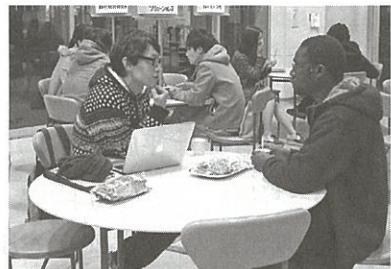
また、ワークショップを通して社会人基礎力を鍛えるための授業「キャリアデザインⅠ」（主に学部2年対象）を開講し、早い段階から進路を考え、就職活動の準備をする機会を提供しています。

講義だけでなく学生が気軽に参加し、就職活動に備える場として「インターンシップカフェ」や「就活カフェ」を実施しています。ここでは、就職活動本番を迎える学部3年生が、既に内定を獲得した学部4年生に、インターンシップや就職活動の分からない事、聞きたい事等なんでも気軽に聞くことができます。

〔学内合同企業説明会・業界研究会〕

就職活動時期が変更になったことを受け、本学でも合同企業説明会の開催時期を変更しました（これまで：学部3年の12・1月→これから：学部4年の4・5月）。

平成27年度卒業予定者向けの学内での合同企業説明会は、平成27年4月から5月にかけて9回実施予定です。通常、学生は東京などに交通費をかけて企業説明会に参加しなければならないところ、東京などから企業の人事担当者が会津大学まで足を運び、学生に企業の説明をしていただいている。



就活カフェの様子

県内外の企業に多数参加いただく予定で、参加企業数は過去最多となる見込です（平成 27 年 1 月現在、189 社から参加申込）。このほか、企業が個別に説明会を実施する個別企業セミナーも開催します。

また、企業説明会実施可能時期前に、学生が企業や社会を知つてもらう機会となるよう「業界研究会」を実施しました。この業界研究会は、業界を知るきっかけとすることはもちろん、できるだけ早い時期から社

会人とふれあうことで、就職活動への意識を高めるとともにコミュニケーション力のアップを図るという意図もあります。

（平成 26 年 12 月から平成 27 年 2 月にかけて合計 5 回実施。参加企業数 31 社）



業界研究会の様子

会津大学の海外派遣留学支援事業報告

<研修報告>関口 有加里さん（ワイカト大学、平成 26 年 8 月～平成 26 年 9 月【6 週間】）

私は、会津大学海外中期派遣支援事業プログラムを利用してニュージーランド、ハミルトン市の国立ワイカト大学へ留学しました。

私はこの留学を通して 2 つの目標がありました。1 つ目は、研究をすることです。私は日本語話者による音声了解度についての研究をしたいと思いました。今は研究中ですがこのデータをもとに卒業論文を書く予定です。

2 つ目は、デジタルストーリーを作る事です。滞在中にたくさんの写真や短い動画を撮り、インタビューを行いました。このデジタルストーリーを発表することで、次にワイカト大学に行く人の助けとなり、ニュージーランドの雰囲気を少しでも多くの人に伝えたいと思っています。

また、ワイカト大学の語学学校では、主にディスカッション、ペアワークを行いました。特に、必ず相手の意見に批判をしながら話し合ったり、ホームレスなどの役を演じたりとグループワークは慣れるまでとても大変でした。しかし、毎日の授業で違った価値観の意見がたくさん飛び交い、自分の意見もとても言いやすい環境で、すぐに慣れることができました。

授業後は、様々なクラブ活動に参加しました。今回

の留学先は現地の情報があまりなかったので、1 人で行くことに最初は大きな不安がありました。このクラブの友達のおかげで、不安が少しづつ消え、授業後や休日も楽しい時間を過ごすことが出来ました。

ホームステイでは、ホストマザー、ホストファザー、3 歳のホストスター、高校生で中国人のルームメイトと一緒に生活しました。毎日気にかけてくれたホストファミリーには本当に感謝しています。

ニュージーランドには様々な国の人があり、人と人の距離もとても近くを感じました。異国で自分と向き合うことで、時々苦しくなることもありますが、相談できる友達のおかげで、毎日が充実した生活を送ることが出来、様々な価値観を持った友達からたくさんのこと学びました。さらに、授業で学んだことは、これから的人生で必要なことばかりであり、感じたことは、これからも忘れず大切にしたいです。



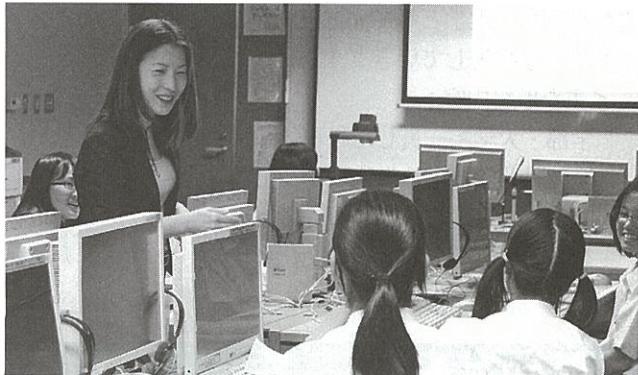
<会津大学の海外派遣留学支援事業> 平成 26 年度派遣予定・実績

*JASSO = 日本学生支援機構

	研修期間	[派遣時学年] 派遣学生
海外短期派遣 *JASSO 奨学金 【予定】	平成 27 年 3 月 8 日～3 月 29 日 【3 週間】 (ローズハルマン工科大学：米国)	[学部 1 年] 荒川 麻衣子、遠藤 幹士、杉井 雄汰、杉田 和駿、土佐 峻平、納谷 かごめ、渡邊 陸斗 [学部 2 年] 根本 紗緒里 [学部 3 年] 木元 雄太、横川 真美
	平成 27 年 2 月 21 日～3 月 14 日 【3 週間】 (ワイカト大学：ニュージーランド)	[学部 1 年] 阿部 刚紀、佐久間 愛 [学部 2 年] 金井 稔太、原田 明璃 [学部 3 年] 石塚 雄二 [学部 4 年] 渡邊 優太
	平成 27 年 3 月 11 日～3 月 25 日 【2 週間】(大連東軟信息学院・アルパイン株式会社：中国)	[学部 2 年] 谷津 香、森野 未沙登 [学部 3 年] 伊黒 裕貴
海外中期派遣 【実績】	平成 26 年 8 月～平成 26 年 9 月 【6 週間】 (ワイカト大学：ニュージーランド)	[学部 3 年] 関口 有加里
海外中期派遣 / *JASSO 奖学金 【実績】	平成 26 年 8 月～平成 27 年 3 月 【約 6 か月】 (ローズハルマン工科大学：米国)	[学部 3 年] 武田 唯

教員紹介

語学研究センター Center for Language Research 上級准教授 金子 恵美子



会津大学は卒業論文の執筆を英語で課している、日本で数少ない理系大学の一つです。入学時は英語の学術論文など見たこともなかった学生が、立派に英語の卒業論文を仕上げて卒業していきます。そのような会津大学の英語教育を担っているのが語学研究センターで、現在日本人 3 名を含む 11 名の博士号保持者が在籍し、語学の授業を行っています。

日本人大学生の内向き志向がメディアでは頻繁に取り上げられますが、会津大学も例外ではなく、多くの海外提携校を持ちながら、学部留学、研究留学をする学生はごく少数に限られています。ボーダーレス化が進む社会に出ていく若者として、一人一人の目が国内外に向か、大学生という恵まれた時間に広い視野と多岐にわたる好奇心を育んでほしい。そのためには、まず海外に第一歩を踏み出してみることが大切と考えます。少しでも安心して海外に行けるよう、2014 年度から会津大学では短期留学プログラムを英語の授業と位置づ

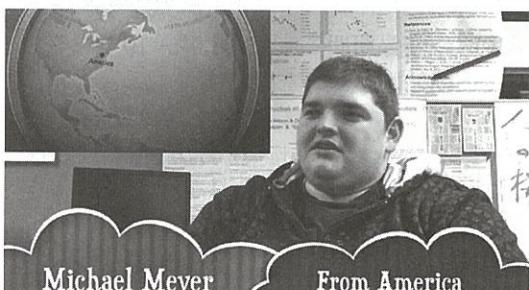
け、語学研究センターと国際戦略本部が協力して留学前クラスやオリエンテーション、海外経験の「振り返り」を促す課題を準備しました。Global Experience Gateway と名付けられたこのプログラムには、短期留学の経験を Gateway（登竜門）として、更に広い世界へ羽ばたいてほしいという願いが込められています。

Global Experience Gateway に参加する学生は、海外滞在中に英語のブログを作成し、定期的にアップロードすることが課せられます。また、日本語が話せない人に英語でインタビューして、その様子を録画・編集し 5 分程度の取材ビデオを作成します。これらのブログやビデオは、英語教員に加え、コンピュータ理工学、文化研究センター、国際戦略本部の教員が評価を行い、また保護者の方にもリンクをお知らせして、学生達の成長を見ていただこう予定です（この取組については、下記【学生作成ビデオ紹介コーナー】も合わせてご覧ください）。

最近の研究によると、英語の勉強を継続する動機は「英語を使って生きている将来の自分像がリアルに想像できるか」にかかっていると言われています。英語を使って仕事をしているプロフェッショナルとしての自分、多様な国籍のプログラマーと対等にやりあっている自分。スーパーグローバル大学創生支援事業に採択され、会津大学ならではの個性的な国際化を推し進める中、たった三週間ですが新鮮な発見、驚きを経て、そのような将来の自分像を心に抱ける若者が一人でも多く誕生するのを祈ってやみません。

学生作成ビデオ紹介コーナー

今年度より始まった Global Experience Gateway は、アメリカ、ニュージーランド、大連への短期留学（大連はインターンシップ）のプログラムです。留学という貴重な経験をさらに有意義なものにするために、参加する学生さんには 5 分程度のビデオを作成してもらいます。まず、日本語が話せない人に自分で交渉してビデオ出演を承諾してもら



Michael Meyer

From America

います。その後インタビューを行い、その様子を録画。ビデオを編集し、英語字幕を付けます。完成したビデオは YouTube にアップロードして、保護者の方を始め、会津大学の教員や学生が閲覧することができます。留学に参加していない学生も、身近な友人や先輩のそのような雄姿を見て、海外に対する夢が広がることでしょう。

海外で作成する取材ビデオの完成は 3 月～4 月になりますが、渡航前に、練習として取材ビデオを作成しています。会津大学の留学生や外国人教員の取材ビデオです。是非ご覧ください。

■学部 3 年 伊黒裕貴さん作成ビデオ

<http://youtu.be/rrZ5cr4QiyY>

■学部 3 年 石塚雄二さん作成ビデオ

<http://youtu.be/4KtxRRU7EgU>

会津大学が「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました

このたび会津大学は、文部科学省の平成 26 年度国際化拠点整備事業費補助金(スーパーグローバル大学創成支援)の交付先として採択されました(タイプB型、平成 26 年 9 月 26 日文部科学省公表)。

この補助金は、政府の諮問機関である教育再生実行会議の提言を受けて、我が国の大学の国際通用性や国際競争力を向上させることを目的として、文部科学省が創設したもので、世界的に魅力的なトップレベルの教育研究を行う大学(タイプ A 型: トップ型) や、我が国の国際化を牽引する大学(タイプ B 型: グローバル化牽引型) を重点支援するものです。

このたびの採択を受け、会津大学では、世界で活躍する革新的 ICT 人材の輩出を目的に、「心・技・体」三位一体のコンセプトのもと多文化キャンパスを創出し、ICT 分野の地方公立大学として先進モデル校を目指し、全学を挙げた取組を推進していきます。

<主な取組内容>

- ・学部・大学院一貫した科目体系、柔軟な学期制導入
- ・全教科英語による単位取得や日本文化の学習
- ・技術革新・創業基礎・海外研修科目群の創設
- ・全職員の英語力向上、多文化キャンパスの徹底 等

保護者の方へ ~お知らせ~

後援会事務局からのお知らせ

[卒業記念パーティー]

本年度の学位記授与式が 3 月 20 日(金)午前 10 時から講堂で行われます。後援会では、卒業をお祝いするとともに、これまで指導いただいた教員の方々への感謝を込めて卒業記念パーティを開催します。保護者の皆さんには、ぜひ御出席くださいますよう御案内いたします。

- 日時 平成 27 年 3 月 20 日(金) 12:20 ~
- 場所 会津大学学生ホール 1 階 学生食堂
- 会費 卒業学生及び保護者ともに無料



学生課からのお知らせ

[卒業記念アルバム]

卒業アルバムは、(株)メディア出版新潟支社が作成し、直接予約を受け販売しています。なお、作成にあたっては、会津大学学生課が写真撮影の手配等について協力を行っています。詳細につきましては、同封いたしました案内にてご確認をお願いいたします。



[成績表の保護者への送付]

学生課では、保護者の皆さんへ 1 年間の成績表を、毎年 3 月中にお送りしています。4 月上旬までに届かない場合は、学生課教務係にお問い合わせください。(教務係 電話: 0242-37-2600)

[転居等による住所の変更]

保護者あての送付物が「転居先不明」で戻ってくる事例が多く見受けられます。転居等で住所が変更になった場合は、学生課に「保護者住所変更届」をご提出くださいますようお願いいたします。

平成 27 年度会津大学教務日程 (予定)

在学生履修登録期間	3 月 10 ~ 13 日	在学生履修登録期間	9 月 7 ~ 10 日
入学式	4 月 2 日	後期授業開始	10 月 1 日
新入生オリエンテーション	4 月 2 ~ 4、6 日	蒼翔祭	10 月 10、11 日
健康診断	4 月 3、6 日	冬季休業	12 月 24 ~ 1 月 3 日
前期授業開始	4 月 7 日	後期試験	2 月 3 ~ 15 日
内科検診	5 月 20、21 日	卒業論文発表会	2 月 16、17 日
前期試験	7 月 30 日 ~ 8 月 11 日	春季休業	3 月 1 ~ 31 日
夏季休業	8 月 12 日 ~ 9 月 30 日	学位記授与式	3 月 18 日